

株式会社岐阜バイオマスパワー 岐阜バイオマスパワー発電所第 2 号発電設備

■事業概要

本事業は、岐阜県瑞穂市牛牧に、敷地面積約 4,200 m²、常用発電量 6,800kW の岐阜県バイオマスパワー発電所第 2 号発電設備を建設し、岐阜県内を中心として、主に森林に放置されている未利用材を回収して木質チップに加工し、これを燃料としてボイラータービン発電方式により発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	バイオマス利用装置への融資
所在地	岐阜県瑞穂市牛牧
用途地域	工業専用地域
常用発電量	6,800kW（発電端）
工事予定期間	平成 30 年 7 月～平成 32 年 7 月
供用開始予定	平成 32 年 8 月

■立地環境

事業予定地は、既に稼働している岐阜バイオマスパワー発電所第 1 号発電設備に隣接した用地であり、現在は燃料用原木のストックヤード等として利用されている。都市計画法上の工業専用地域であり、騒音、振動及び悪臭については県の条例で規制地域に指定されている。事業予定地の周囲は概ね工場が立地し、北側から東側にかけて流れる一級河川の木曾川水系五六川は農業用水に利用されている。また、事業予定地から 500m 以内には学校、図書館、病院等の環境配慮が必要な施設は存在しない。

■実施した環境影響調査

瑞穂市及岐阜県などの公表資料、環境省の第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査などの既存文献資料調査、並びに専門技術者による現地踏査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

環境配慮計画書概要版を事業者のホームページに公表し意見を受け付け、今後住民説明会を計画している。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

● 供用中の配慮：大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁及び廃棄物について、環境配慮の取組を行う計画としている。

建設工事中の配慮：工事用車両の集中を避けた分散運行やエコドライブの実施、建設廃棄物の分別・再資源化の徹底、建設発生土の再利用を検討し、最終処分量を削減する計画としている。



環境配慮に関するコメント

大気質、騒音、振動については、隣接する同等の既存施設での実測データを活用して影響の定量的な予測評価を行い、その結果を踏まえて環境配慮の取組を計画していること、環境配慮の取組について、定期的な環境測定や巡回確認など具体的なモニタリング方法を明記していることは評価できる。

燃料となる未利用材については、第 1 号発電設備の分も含めた安定確保を長期にわたって継続するよう一層の取組をお願いしたい。

なお、フォローアップにあたっては、第 2 号発電設備だけでなく第 1 号発電設備の分も合わせて環境影響の有無を確認するのが望ましい。